

きらめき NEWS

VOL. 10 (2024. 6)

デートDVを知っていますか？



松橋 美恵子代表

当財団では、長年にわたって若者をデートDVの被害から守るため、高校や大学等が行うデートDV防止教室へ専門の講師を派遣してきたところですが、今回、その講師を務められ、自らも啓発活動を行っておられるイベント・Lの松橋美恵子代表にデートDVの現状や予防するために大切なことなどのお話をお伺いしました。

○啓発活動を始めたきっかけ

宇部市の配偶者暴力相談支援センターで、DV相談員をしたのが始まりです。相談業務の傍ら、DVに関する研修を受けに行った時にデートDVを知り、デートDVの研修も受けました。

相談を受ける中で、デートDVの被害

○デートDVの最近の特徴

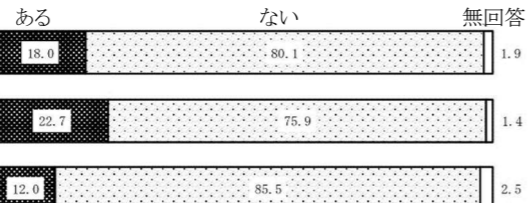
デートDVとは、暴力で相手を支配してコントロールしようとする行為が恋人間で起こることです。男性から女性に対してだけではなく、女性から男性に対しても、同性カップル間でも起こります。暴力には、殴る・蹴るといった身体的暴力だけではなく、精神的暴力、行動の制限、経済的暴力、性暴力、デジタル暴力などがあり、最近多いのは、精神的暴力です。これは、言葉や態度で相手の精神にダメージを与えます。被害を受けていることに気がつかず、加害者側も加害意識がない人が多いです。誰もが被害者

者・加害者になることを防ぐためには予防・啓発が必要なのではないかと思っていました。『デートDVの講座をしてください』と声をかけていただきました。

何度か講座を行う中で、若い世代にデートDVを知ってもらい、気づいてもらうことが重要だと分かり、DV・デートDVの予防・防止の啓発活動に特化したイベント・Lを2016年に設立しました。

○デートDVの現状

内閣府の調査（令和5年）で、実際相手から被害を受けた人は、女性が22.7%、男性が12.0%という結果でした。前回（令和2年）の調査結果と比べて、割合に大きな変化はありませんが、被害を受けている実態がありますし、潜在的にはもっと多いと感じています。



内閣府調査(令和5年)

というのにも、「デートDV」を知らない人は多く、学校等で講座をする時、「デートDV」という言葉を知っているか尋ねると、知っている生徒たちはとても少ないです。これは、啓発講座を始めた頃から変わっていません。

だから、「デートDVかもしれない」と

県民活動推進委員リレーコラム Vol.7

弘中 淳一さん
((一社) やまぐち GIS
ひろば：宇部市)

「GISを活用した地域防災マップ製作を推進」

GIS（地理情報システム）は、地理空間情報をコンピュータで扱うソフトウェアとして1967年にカナダで開発されました。国内では、1995年の阪神



上田中地区ハザードマップ(1/4,000)

・淡路大震災による活用でブームとなり広まりました。近年では安価に扱える技術へと進化し、Googleマップに代表されるGISアプリは、皆さんも日頃から活用されているのではないのでしょうか。私たちは、この技術を地域防災に生かす活動として、「GISを活用した地域防災マップ製作の推進」に取り組んでいます。2018～2020年度には、山口きらめき財団の助成を受け、山陽小野田市出合

地区、防府市大道地区での活動を実施しました。その後も活動を続け、昨年度は、下関市日新地区において、要援助者率先避難時の車いすによる避難時の地域防災マップ製作を行いました。今年度は再び財団の助成を受け、全国の事例紹介やGIS講習会開催を予定しております。

近年、迫りくる大規模災害に備えるために、自治体による“公助”では限界があり、地域自らが実践する“共助”“自助”の防災が必要不可欠であることは言うまでもありません。私たちは、GISによる地域防災を推進してゆきますので、ご支援、ご鞭撻をよろしく願いいたします。



財団イベントスケジュール

開催日	イベント名	主催者	会場
6/22(土)	「男女共同参画リーダー研修」	やまぐちネットワークエコー	カリエンテ山口
10/26(土)～27(日)	「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」	やまぐち県民活動促進実行委員会	山口きらら博記念公園
11/17(日)	「家族みんなのフェスタ」	家族みんなのフェスタ実行委員会	周南市学び交流プラザ
11/23(土)	「501再発見！秋の榎野川ウォーク」	榎野川再発見ウォークの会	榎野川
12/7(土)	「ひとつの地球・みんなの未来～環境問題と様々な子育ての形～in山ヒメ」	山口ヒメ倶楽部	うべ湖水ホール

(秋吉台国際芸術村)

開催日	イベント名	料金	時間
6/16(日)	「芸術村フェスティバル2024」	無料	10:00～15:00
7/13(土)	「秋吉台映画村 Vol. 14」	一般500円	13:30～
8/11(日)	「秋吉台ミュージック・アカデミー ガラ・コンサート」	一般3,000円、学生2,000円	14:00～
8/25(日)	「秋吉台ホルンスタジオ ガラ・コンサート」	一般3,000円、学生1,500円	14:00～
9/14(土)	「クアルテット・インテグラ リサイタル第2弾」	一般2,500円、学生1,000円	14:00～

お知らせ

○イベント用品の無料貸出

県民活動団体の皆様の活動を支援するため、イベント等に必要となる用品の無料貸出を行っています。貸出用品等については、ホームページをご覧ください。

○事務所の移転について

令和6年9月から下記住所に移転します。
〒753-0021 山口市桜島三丁目2番1号 山口県宮野庁舎2階（電話・FAX番号は変わりません）

発行

“男女が共同して参画し、文化が薫り、県民活動が広がる”
公益財団法人 **山口きらめき財団**

〒753-0082
山口市水の上町1番7号 水の上庁舎2階
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096
メール info@y-kirameki.or.jp



令和6年度きらめき活動助成金交付式

当財団では、団体の立ち上げ・自立を支援する「ゆめプログラム」、地域における社会的課題の解決を支援する「はなプログラム」、文化芸術を支援する「つむぎプログラム」により、県民活動を支援するため、県民活動団体にきらめき活動助成金を交付しています。

5月14日、助成金を受けられる45団体のうち、40団体の代表の方に交付決定書が村岡副理事長から授与され、「新たに県民活動に取り組む団体や、一層の飛躍を目指す団体のモデルとなるよう活躍を期待しています」とエールが送られました。



また、交付団体を代表して、せとうちブループロジェクト実行委員会（周南市）中村公俊さん（右写真）が、「活動を継続していくことで、魅力ある山口県を発信していきます」と決意表明をされました。



交付団体一覧

○自立支援「ゆめ」プログラム

団体名（代表者名）	所在地
小児がん親の会「あしたばの会」 (徳田 耕一朗)	山口市
岩国くらす隊未来係 (村井 優)	岩国市
七福 art (松村 瞳)	田布施町
いわくにだれでもジェンベ (藤田 陽子)	岩国市
ミモザプロジェクト (なかむら みゆ)	下関市
スマホ社会を考える会 (金原 洋治)	下関市
愛着子育てサポートの会 (佐々木 澄江)	萩市
フリースペース コティ (楠 恭子)	下松市
子ども食堂とまと (河上 純子)	岩国市

○課題解決支援「はな」プログラム

団体名（代表者名）	所在地
Mint (柴田 久美)	下関市
山口 DARC (渡慶次 稔)	山陽小野田市
kikkake (池田 恭子)	山口市
高齢社会をよくする下関女性 の会（ホーモイ） (田中 隆子)	下関市
檜原ゆうあい会 (吉川 俊雄)	下関市
大井地区連絡協議会 (永田 勝利)	萩市

団体名（代表者名）	所在地
「湯けむりのまち やさしさ湧いてます」制作委員会 (田中 輝)	長門市
伊陸歴史会 (山近 厚生)	柳井市
琴石サラブレッドパーク (鹿嶋 英美)	柳井市
地域共生社会を考える会 (守本 友美)	周南市
ふれあいの森なんでも工房 (村田 真博)	周南市
紙人形劇団ネリノ (谷本 和子)	宇部市
明日を紡ぐ大地の会 (福島 光子)	山口市
萩浴衣音楽フェス実行委員会 (田口 宏孝)	萩市
藍と愛の会 (飴村 秀子)	防府市
周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会 (片川 久美子)	周南市
スポカルクラブ SGC (井上 雄治)	山陽小野田市
宇部市地球温暖化対策ネットワーク (渡邊 裕志)	宇部市
さくらの守人 (水津 久美子)	山口市
阿武の松原のみどりを守る会 (西元 勇)	萩市
いわくに竹の会 (佐古 雅子)	岩国市
seeds (西本 利治)	柳井市

団体名（代表者名）	所在地
せとうちブループロジェクト実行委員会 (渡辺 裕子)	周南市
(一社)やまぐち GIS ひろば (三浦 房紀)	宇部市
幸坂総合教育研究所 (幸坂 美彦)	山口市
やない平和を語る会 (久保 優子)	柳井市
NPO 法人山口女性サポートネットワーク (小柴 久子)	宇部市
NPO 法人おひさま生活塾 (近藤 鉄浩)	宇部市
NPO 法人森と海の学校 (岡村 精二)	宇部市
どっとこみゆ (谷光 純弥)	岩国市
こころのほし〜完璧な親じゃなくていい。もっと子どもの心の声を聴いて〜 (坂田 美紀)	山口市
やないしらかべ『絆』ねっとわーく (中本 瑞穂)	柳井市
みんな食堂アルトス (住山 芳子)	周南市
猫幸の家 (大西 優花)	柳井市

○文化芸術支援「つむぎ」プログラム

団体名（代表者名）	所在地
田中絹代メモリアル協会 (酒本 哲也)	下関市
The beginning of the art (井出崎 小百合)	山口市

気づいてもらうためにも、若い頃から、学校等における予防・防止の啓発は大切だと感じています。

○学校等でのデートDV予防講座

私が講座を始めた時は、まだ「DV」という言葉を知らない生徒たちが多く、問いかけにもあまり反応がありませんでした。また、感想も「勉強になりました」というのが多かったです。しかし最近では、報道などで「DV」について見聞きする機会が増えていることもあって、生徒たちは私の話を真剣に聞いてくれて、問いかけにも沢山答えてくれます。感想も「彼はいつも自分の思い通りにします」とか「自分はデートDVと思っていないなかったけど、していたことが分かった」など、具体的に沢山書いてくれます。また、「話合う時は教えてもらったような感じがきちんと伝わっていたことが分かる感想なども多く、励みとなっています。



また、先生方の意識が変わったことを最近すごく感じます。講座の中で先生方にも意見を聞くと、初期の頃は教科書通りの回答をする先生ばかりでしたが、最近は、はっきりと意見を言ってくれる先生が殆どです。そのお陰で、性暴力などに関する内容に話を繋げやすくなり、きちんと説明できるようになりました。デートDVは、自分たちで解決するのがとても難しい問題なので、もし被害にあつたら一人で悩まず、先生に相談してほしいことを伝えていきます。すると後日、先生から「こういうデートDVのケースがあるみたいだが、どう対応したらよいだろうか」などの相談がまい込むようになりました。「デートDVを熱心に勉強している先生が増えて、生徒たちは相談しやすくなっているのかな」と思います。

○デートDV予防講座で伝えたいこと

デートDVは、コミュニケーションの仕方が分からないために起こってしまっているケースが多いです。相手に自分の気持ちをきちんと伝え、相手の気持ちをきちんと理解するコミュニケーション能力を身につけることが大切です。そ

うすれば、お互いを尊重することができ、デートDVは防げることが出来ます。残念ながら、最近の生徒たちは、コミュニケーション能力が低いと感じます。相手がどう思っているかを理解する力が弱くなっているのです。講座では、その部分については時間をかけて説明しています。

○これからも啓発活動を頑張ります

デートDVは、交際相手との関係だけでなく、友達関係や虐待など、幅広く人生に繋がる課題だと思っています。誰もが被害者にも加害者にもならないよう、私はこれからも啓発活動を続けていきます。



○皆様へのメッセージ

いつも講座で紹介している、書道家永田紗戀さんの詩から「私に生まれてよかったと想いたいから」を、自分を大切にして素敵な人生を送ってほしいとの思いを込め、皆様にお届けします。